

2回のNIEの授業を終えて

私はエニールこども園に行き、保育士の大変さや楽しさを学びました。

2回のNIEの授業を通して私は、最初は新聞に興味がなかったけど、1回目の授業を受けた際、私は帰って新聞を拝見しました。すると、文字の大きさにびっくりしました。その時に目にに入ったのが見出しだして、大きな見出しを見るだけでこれを書いた人が一番何を伝えたいのかすぐ分かることができました。そして6/10に2回目の授業を受け、新聞の内容は5W1Hからなる、7/17、トライアルワークで學んできた一番伝えたいことをびっくり見出しさうと、相手が読みたいと思えるような新聞をくれるのではないかと考えています。今、学校では少しでも新聞に興味をもつよう取り組みを行ってくれています。興味のある新聞を読んで、その新聞にどんな工夫が入れられているのか、作った人はどんな苦労があったのかなで読み取れると、その新聞に対する気持ちが変わると思います。私が新聞を作る時には、まず1日間の内容を思い出して子どもたちとどんなことを楽しんだのか、その場所は自分にとって、どんな音、雰囲気だったのかといふことを表現にして作っていけたらいいなと思います。私の作ることを表現にして作っていけたらいいなと思います。これまた新聞が少しでも、みんなに見てもらえるように頑張ります。これまた2回の授業ほんとにありがとうございました。

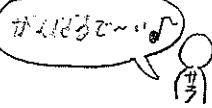
2回のNIEの授業を終えて ～ふりかえり～

新聞をつくるにあたってさまたち（小さなこと）が“かくされていて、読み手が理解しやすいようになります”になりました。

また文章の構成や見出しのワードにちょっとした表現をいれることで、発行者の思いや考え方が伝わりやすくなることをしてとてもうれしかったです。講習のはじめ、30字でとくに伝えたいこと（学んだことや楽しかったこと）をまとめるとき、文字の省略や言いかえることが、自分にとってはすごく難しく思ったのに、記者はそれが毎日だからさすがだなあと感じました。

私も新聞にのせたい色々な話をたくさんのせたいけど、その中で一番伝えたいことを上手に表現したいです。

また文章だけではなく、見出しや色使い、文字の大きさやフォントなども上手にバランスよく活用して、読み手の目をひきつけられると作りにつくりたくなります。



2回のNIEの授業を終えて

インタビュー、新聞の取り方、書き方について知ることができました。普段はしないことを、分かりやすく教えていただき、少し挑戦してみようという気持ちが芽生えました気がします。私は、家で新聞を読むことがあります、あまり文章の構成を意識したこと�이ありません。新聞の文章と作文の文章は似ているなと思いました。だったらと同じことをかくよりも、1つの筋が通った文章を書いたほうが良いことを学びました。文の配置にも見る人(読む人)が分かりやすいように工夫されているのですなと思いました。新聞は主に朝刊と夕刊の2つしか1日に発行されないので、いかに分かりやすく、そして丁寧に伝えることが大切だと見えます。途中で新しいニュースが入ったとしても、初めに結論を伝えることで、後ろの方を省いても伝わるし、明確に、多くの量を伝えられるので新聞記者の人は、多くの時間を使って文章を考えていることが分かりました。新聞記事には、配置場所や見出しが大切なのだと思いました。色や大きさによって、その記事の印象や状態も決まるので、重要なし、一目で文章の内容がすぐに分かる記事を目出たすために必要なものなのでこだわりをもつことが大切だと思います。新聞をかくときは、2回の授業で学んだことを活かして、分かりやすく、正確に、作っていけたらいいなと思います。

2回のNIEの授業を終えて

私が新聞を作る時に、言葉が「マニエリ化」しないようには気をつけようと思いました。他の人と同じような表現ばかりだと、読む人があきるということを知れたので、自分だけの言葉で新聞か書けたらいいなと思いました。

結論を先に持ってくると分かりやすい」というのは初めて知りました。聞いた時は「うそやん」と思ってたんですか、例文を見たら本当なことに気づいて、すごいなと思いました。この方法は新聞以外にも色々使えそうなので使ってみたいと思います。

新聞は、文の構成だけではなく、写真やイラストの場所も大切なことが分かりました。写真の位置が違うだけで、人によって新聞の読み方が変わったり、見やすさが変わってくることがあります。

私は普段あまり新聞を読まないんですけど、新聞にはたくさんの工夫がされてることを知って驚きました。いつもは写真をぱっと見るくらいなんですが、文にもたくさんの読みやすい工夫がされていることを知ったので、少し新聞読んで見ようかなと思いました。